



介護学専攻では、学習内容の特色や学生生活について知ってもらうために「介護学専攻だより」をお届けしています。本紙を通じて、介護学専攻学生の生活や実習、授業内容などに興味をもっていただく機会となれば幸いです。

●介護学専攻1年生の近況

2021年4月に行われた介護学専攻1年生に関連する話題です。

- 1日 ● 入学式
- 5日 ● 新入生オリエンテーション
- 6日 ● 新入生セミナー
- 7日 ● 前期授業開始



●新入生セミナー



新入生セミナーでは、介護福祉士・社会福祉士として活躍している卒業生からご自身の日常的な活動について紹介していただきました。また、上級生アシスタントから大学生活の心構えや過ごし方についてアドバイスをいただき、新入生の皆さんは大学生活のイメージ作りができました。上級生や同級生と親睦を深める良い機会となりました。その時の学生たちの感想の一部を紹介します。

私は、セミナーで2つの新たな発見をしました。一つ目は、介護福祉士と社会福祉士のW資格の有効性です。今まで全く別物の資格だと思っていたけれど、W資格を取得することでどちらの職種に就いても別の視点からも見ることが出来ることに驚きました。二つ目は、他職種との連携の大切さです。役割内容を大学のうちに理解すると、職に就いたとき、他職種への理解が早いと聞き、すごく納得しました。そこで私は、介護学専攻でW資格取得を目指し、予習復習の習慣化、実習での積極性、就職活動の情報収集を大切にしたいと思いました。

〔川合未紗さん, 1年生, 岐阜東高等学校卒〕



新入生セミナーでは、入学したばかりで周りの環境が一変して不安が募っているなか、先輩方が率先して声をかけて下さったりゲーム企画などで場を盛り上げて下さったので、新入生同士でも交流を深めることができ、非常に楽しむことができました。これから介護学専攻学生として、本学の特色である社会福祉士・介護福祉士のW資格取得を目標に勉学に励むとともに、福祉の仕事は幅広い知識を持ち合わせていることも一つのスキルになるので、新しいことにチャレンジしたいです。

〔加藤望空さん, 1年生, 愛知県清須市出身〕

●介護学専攻2年生の授業

2年生前期に履修する「介護過程演習Ⅱ」について紹介します。

この科目は、2年次前期に開講されます。演習内容は、1年次の介護実習Ⅱ(1月下旬～2月上旬)で担当したご利用者の事例を活用し「介護計画」について学びます。演習はグループワークと担当教員の個別指導により進められます。介護福祉士が介護計画を実施し根拠に基づいた介護実践をすることの大切さを学びます。
〔介護学専攻 教員 水谷なおみ〕

●介護学専攻3年生の近況

2年次後期に履修した総合実習となる介護実習Ⅲの学びを紹介します。



楽しいことがしたいというニーズのあるAさんと折り紙やお菓子作りのレクリエーションをしました。介護計画を実施していくなかで、私とAさんでは楽しいと思う価値観が違い苦戦しました。観察をしながら介護計画の修正を行い、Aさんに寄り添いながら関わることで、Aさんが意欲的に参加していただけた、笑顔になってもらえる日が増えました。この経験から、利用者さんに合わせて介護計画をその都度修正していく、個別支援の大切さを学びました。
〔奥村彩加さん、3年生、岐阜県出身 帝京大学可児高等学校卒〕

●第33回介護福祉士 & 社会福祉士国家試験 合格率

・第33回介護福祉士国家試験 合格率 **100%** * 全国平均: 71.0%

・第33回社会福祉士国家試験 合格率 **75.0%** * 全国平均: 29.3%



●第33回 介護福祉士 国家試験受験者(2020年度卒業生)からのメッセージ

規則正しい生活を送り、勉強と休憩のメリハリをしっかりと取り組むことです。また模擬試験などの過去問をひたすら解いて、直して解説ができるまでにしておけば大丈夫です。国試ナビなどの参考資料で復習することがとても重要です。分かることが増えるとやる気が出てきます。卒業論文と同時進行は正直厳しいです。そのため、定期的で開催してくれる国試対策や模試、学力評価試験を大切にしたいほうが良いと思います。また友達同士・ゼミ仲間で勉強会を開くことでモチベーションにもなります。分からないことを共有することは恥ずかしいことではありません。そこで教えてもらったことを覚えることで大事な1点に繋がり、「みんなで頑張ろう!!」という気持ちになります。

〔Nさん、卒業生〕

●第33回 社会福祉士 国家試験受験者(2020年度卒業生)からのメッセージ

勉強開始時期は10月頃から少しずつ始めていましたが、本格的に勉強をはじめたのは卒論発表会が終わってからです。コロナの影響もあり大学では朝9時から17時までやり、家に帰って夕食終わりに24時頃までやっていました。土日は大学が閉鎖されていたので家で同じ時間でやっていました。私は、今まで本格的な受験勉強というものをやっていなかったこともあり、毎日とても不安でしたが、その時、助けてくれたのは友達と先生です。一人で悩まず分からないこと、不安なことは何でも聞いたり、話したりしていました。受験中私の心を支えてくれた友達の言葉があります。「今やるか、一生後悔するか、今頑張ろう!!」勉強をやっていると嫌になったり、あきらめたくなる時があります。しかし、社会福祉士は勉強すれば絶対受かります。〔伊藤綾苗さん、卒業生、長野県飯田女子高等学校卒〕

<編集後記>

今回の専攻だよりでは、新入生の近況および卒業生の国家試験に関わる内容を中心にまとめました。介護学専攻は、1・2年次では主として介護福祉士課程に関する内容を学び、3年次からは社会福祉士課程に関する学習へと進みます。介護福祉士の視点を持ち、社会福祉士を履修するプロセスは、福祉専門職として貴重な学びの場となります。今後の専攻だよりでも、介護学専攻の特徴的な学習プログラムについて紹介していきたいと思います。〔N.M.〕

